

2020年8月25日
フューチャーアーキテクト株式会社

本稼働中のRPAを対象に堅牢性を評価し全社普及をサポートする 「RPA 健康診断支援サービス」の提供を2020年8月から開始

フューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:神宮 由紀、以下フューチャーアーキテクト)は、本稼働中のRPA(Robotic Process Automation)を対象に実行時の堅牢性を評価し、運用コストの上昇抑止と全社普及をサポートする「RPA 健康診断支援サービス」*1の提供を2020年8月から開始しました。

AIや機械学習などの技術を活用してホワイトカラーの高度な作業を代行するRPAは、業務の自動化・効率化を目的に多くの企業で採用されています。しかし、品質の低さからエラーが頻発し思うように稼働しないなどの理由で、特定の部門や業務での適用に留まっており全社に普及していない、適用範囲が補足業務に限定され主要業務まで及んでいない、などの課題があるのが実態です。また、RPA導入範囲の拡大にともなう運用コストの上昇により、更なるRPA導入を躊躇する企業も見受けられます。

フューチャーアーキテクトは、2016年から「業務改革支援サービス」の一環としてお客様のRPA構築・運用を支援してきました。これまでに培われた知見*2をベースとした「RPA 健康診断支援サービス」では、実行ログなどからRPAの稼働状況を可視化し、稼働率を検証します。その結果、稼働率が低いと判定されたRPAについては、実行シナリオの問題箇所を特定し修正後の効果を定量・定性の両面から試算します。

「RPA 健康診断支援サービス」の導入により、短期的にはRPA稼働率改善による自動化・効率化効果の向上、中長期的にはRPA運用コストの上昇抑止による全社普及が期待できます。

フューチャーアーキテクトは、本サービスの提供を通じてお客様の業務効率化をサポートし投資余力の創出を支援します。

*1 「RPA 健康診断支援サービス」の8月時点の対象製品は「UIPath」「BizRobo!」「WinActor」です。
対象製品は、今後、順次拡充していく予定です。

*2 フューチャーアーキテクトの知見の一部は、ソフトウェア品質シンポジウム2019 経験論文『RPA開発における工数見積りと非機能設計の勘所について』として公開しています。「RPA 健康診断支援サービス」では、「非機能設計ガイド」に記載した8つの検証観点をRPA製品毎に具現化した「非機能設計チェックリスト」を用いて各RPAの堅牢性を検証します。

https://www.juse.jp/sqip/symposium/2019/timetable/files/A2-3_rounbon.pdf

■フューチャーアーキテクト株式会社 概要

代表者： 代表取締役社長 神宮 由紀

設立： 2016年4月1日

事業内容： ITを武器とした課題解決型のコンサルティングサービスの提供

URL： <https://www.future.co.jp>

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 広報担当:中村、高橋

TEL : 03-5740-5723 E-mail : f_pressroom@future.co.jp